



広報 おおねにぬ

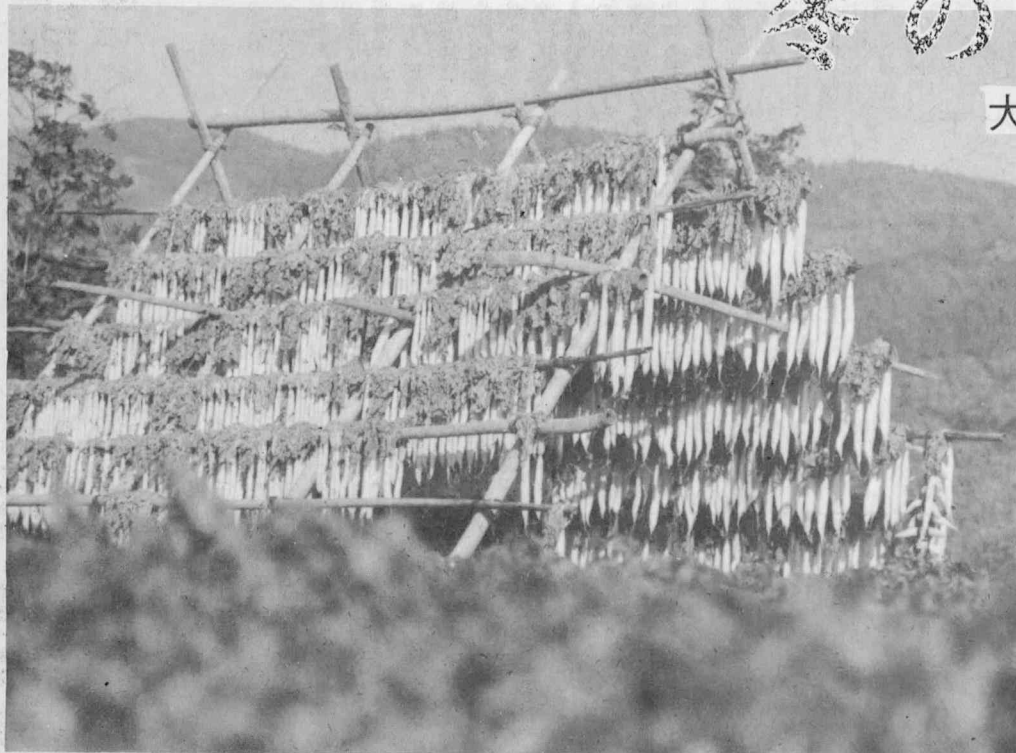
昭和53年12月号 No. 311

編集と発行 鹿児島県肝属郡大根占町役場
総務課文書広報係
電話 (0994) 2-0511~0515
印刷 新生社印刷 (0994) 3-2238

町の人口 昭和53年11月1日現在推計人口
男 4,508人 計 9,691人
女 5,183人
10月1日より9人増

冬の風物詩

大根の架干し始まる



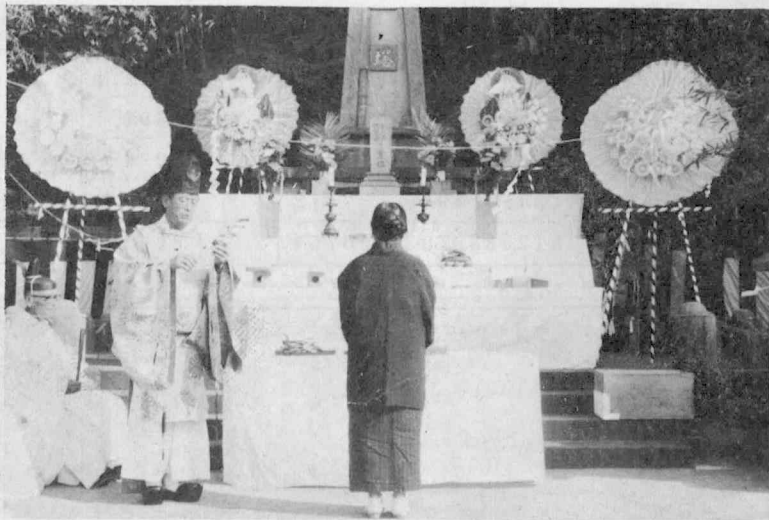
12月の寒空につるされ、遠くは愛知県へ出荷される (桜原)

師走……つめたい北風が吹く頃になると、本町の神川中原・桜原、宿利原畑地では大根の架干しが始まる。
9月中旬から下旬にかけて大根の植え付けがなされてから三ヶ月のちの11月下旬から2月いっぱい、大根引きがいっせいはじまり、そして、その大根を一本一本きれいにあらって、スギの木と竹で組んだやぐらにかけ、そのさまは雄大で、のどかで、まさに冬の風物詩！
この架干しは雨量が少なく北西の風が吹いて、晴天がつづいたほうが品質がよいとされる。
品物は、大、中、小、外、と区分され、大根の加工原料として、地元はもちろん、鹿児島市、鹿屋市、知覧などの業者や遠くは中部地方の愛知県にも引きとられてゆく。

終戦33年を迎えて新たな涙

町遺霊祭

町戦没者慰霊祭が落司平にある慰霊塔境内で、秋晴れの11月15日、盛大にも厳かに行なわれました。
この日は県遺族会々長など多数の来賓をはじめ、戦没者の妻、原口シズエさんら約200人の遺族が参列し、神式と仏式により行なわれ、日清・日露・日支・大東亜戦争で軍人・軍属として、花と散った英霊や消防団員として職責をまっとうし、殉職された426柱の冥福を祈りました。
終戦から数えて33年の歳月を経た今日、いまなお遺族は新たな涙にくれていました。
また、今日この平和があるのもこれら殉職者の方々の尊い犠牲があることをわすれず毎年、慰霊祭が行なわれるたびに、私達はこれのことを思い起し、これらの英霊に對して、心から安らかに眠られんことを願います。



戦没者のめい福を祈る遺族

年末・年始の交通事故防止運動

12月15日～1月10日

- こどもとおとしよりを交通事故から守ろう。
- 無謀運転・飲酒運転を追放しましょう。

“事故を呼ぶ酒が、疲労が、スピードが、”

「ぶらさがり棒」古タイヤ

を使って健康づくり

人は誰でも「いつまでも若々しく、健康で頑張りのきく身体でありたい」と願っています。最近、農村でとりあげられている健康対策の一つを紹介いたします。

長時間の農作業や家事作業などは、背骨をまげるうづまり姿勢が多いので、背骨に負担がかかります。背骨には沢山の神経があり、わづかなズレでも神経が圧迫されて、筋肉や内臓に調整をきたして、腰痛、肩こり、頭痛、不眠症、便秘になります。

「ぶらさがり」や「古タイヤ」の利用の背伸びによって、背骨が伸びるために、曲りやズレが自然に矯正され、神経の圧迫もとれ、腰や足の筋肉の緊張や疲労が自然にとれていきます。腰痛のある人は医師の指示によって使います。町内のハウス団地に見本を作りましたが、農作業に行き交う人達がよく利用し、とても良いとのこと、自分の畑にも作ろうという声を聞いて健康作りを進めてください。詳しくは教済課又は根占農業改良普及所にお問合せください。

特別会計

昭和52年度国民健康保険特別会計は歳入三億九千五百五十七万八千八百八十四円、歳入歳出引当金は三億五千八百二十二万八千八百八十四円、黒字になっては当初見込んだ医療費の伸び23・5%を93%下回ったことが主な要因となっているようです。

国民健康保険特別会計の財源は保険税と国庫支出金が大半を占め、その構成比は保険税26・80%、国庫支出金68・97%、繰越金2・54%となっています。

歳出については保険給付費が総額の94・79%を占めて、その中でも療養給付費は保険給付費の93・24%を占めています。

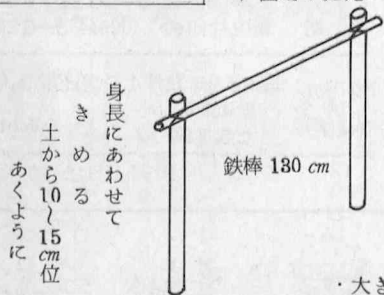
このような状況からみて、今後保健指導を密にして疾病の早期発見と早期治療に重点をおき、日ごろからの健康に注意し、健康管理につとめて経費の節減をはかりたいものです。

交通事故により国保で治療を受けるときは、かならず役場へ届け出ましょう。保険診療された治療費は、加害者へ請求いたします。

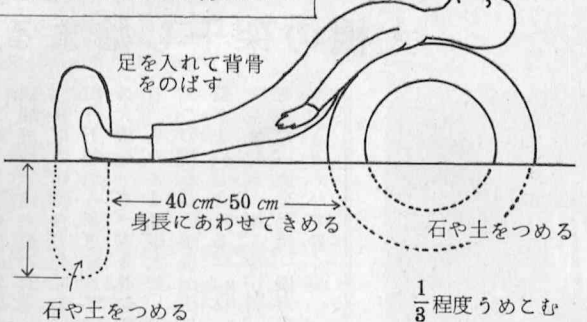
今後保健指導を密にして疾病の早期発見と早期治療に重点をおき、日ごろからの健康に注意し、健康管理につとめて経費の節減をはかりたいものです。

ぶらさがり棒

「圃場や庭先にも」



古タイヤ利用の背のばし



(歳入)

国民健康保険税	10,600万3千円(26.8%)
使用料・手数料	3万3千円(0.01%)
国庫支出金	27,282万2千円(68.9%)
財産収入	112万1千円(0.28%)
繰入金	175万1千円(0.44%)
繰越金	1,003万6千円(2.54%)
諸収入	380万4千円(0.96%)

(歳出)

総務費	1,413万3千円(3.92%)
保険給付費	84,170万4千円(94.79%)
保健施設費	295万7千円(0.82%)
基金積立金	109万7千円(0.30%)
公債費	6千円(0.01%)
諸支出金	59万1千円(0.16%)
予備費	0円(0%)

(一般)

被保険者数 6,909人

	件数	費用額(円)	受診率	1件当り費用額(円)
入院	1,004	128,161,360	14.53	127,651
入院外	28,941	153,366,520	418.89	5,299
歯科	5,121	30,505,990	74.12	5,957
合計	35,066	312,033,870	507.54	8,898

(老人医療)

被保険者数 768人

	件数	費用額(円)	受診率	1件当り費用額(円)
入院	513	75,724,810	66.79	147,612
入院外	8,047	64,277,550	1,047.78	7,988
歯科	178	1,876,410	23.17	10,542
合計	8,738	141,878,770	1,137.76	16,237



作はきぬきや、パレイン、カンショなどを作り、畑を最大限に活用しています。また、本町の4日クラブの会長や神川青年団の団長を引きうけ、夜は会合、朝夕は牛の世話、昼間は畑の耕作と毎日、眼がまわるほど忙しい生活を送っています。

最後に嫁さんはどうですかと問うと、ほほを赤らめて、はつきりそうに、農業に理解があつて、両親に対してやさしく、よくめんどろをみてくれる人であれば……と答えてくれた。

農業にやる気充分な好青年である。

あ、青春

本町の皆倉に住む徳永浩二さん(24歳)は鹿屋農業高校を卒業後、すぐに家業を継いだ。

現在、肉用牛を5頭、小牛を2頭飼育し、畑

れました。また、彼の夢は肉用牛の10頭飼育が目標で、肉用牛生産団地育成事業にも51年度に加入しています。そのほか、きぬきやのハウス栽培もやってみたいと今後の農業にかける夢は大きい。

行政機関に対する希望は？とくくと、やはり、農道の整備(特に皆倉地区)や基盤整備、肉用牛の価格安定などを希望。

農道や基盤整備の充実を

皆倉・徳永浩二さん

(24才)

文化財探訪⑧

琉球 榎

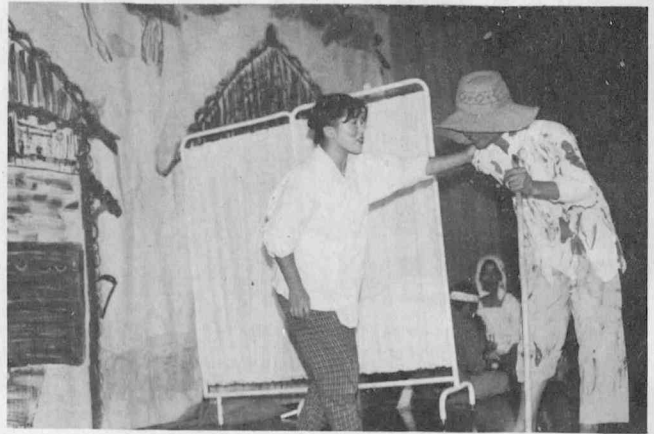


九州の西側では南部から北部まで分布し、東側では大根占の塩屋墓地に生えているだけで他に見られない。普通の榎より葉が大きく若葉に毛がなく、先が鋭くとがっているのが特徴である。

文化の高揚をめざして!!

活動の成果を紹介

町合同文化祭



町民の文化的心情を高め、会員、団員の常時活動の成果を紹介しようと、さる11月11日、12日の二日間わたって町合同文化祭が盛大に開催されました。

この合同文化祭は、町文化協会、町婦人会、町青年団、町農村青年クラブ（4日）が合同で開催したのですが、それぞれの団体が英知を集めた内容の濃い盛大なものでした。

展示会は、11日から12日に公民館全館を

会場に、らん、さつき、おもと、盆栽、生花（古流、池坊）、文芸作品、ペーパークラフト、書道、すずしろの里の作品等が展示され、会場を訪れた方に大きな感銘を与えてくれました。

芸能発表の部は、12日午前9時半から福祉センターで青年団員の意見発表や寸劇、婦人会、文化協会のおどり、歌唱、民謡、郷土芸能等が発表され、やんやの喝采を受けました。

バザー、農産物即売、茶道コーナーも設けられ、われ先にと大盛況でした。また、囲碁、将棋大会も、12日に開催され多くの人が勝負を競い合いました。

今後、さらに一層の精進に努め、地域文化の高揚に尽力されるよう期待いたします。

※囲碁、将棋大会の成績

○囲碁の部

第一位 長浜正徳

第二位 貴島新也

○将棋の部

第一位 益満秋則

第二位 吉岡国香

大中(中学)・池青(一般)が優勝

第24回町内一周駅伝

町内一周駅伝大会は、さる11月25日、池田松坂から神川小学校間9区20、2km間で争われましたが、本年度から、交通事情の関係で、コースの一部変更がなされ、競技されたものです。

今回は、中学校8、高校1、一般13、計22チームが出場し、抜きつ抜かれたの熱戦が展開されました。また、

神川の有村信男さん一家は、親子3人がそれぞれ、同じ区間を息子の博幸さんと競い合うなどの一場面もあり、沿道の観衆をわかせ、全選手が完走、健脚を競いました。

特に今回は参加チームも例年より4チーム多く、部落単位のチームや職場チームの中には30代、40代の選手が多く参加するなど長距離競技への認識が見られ、関係者の関心を高めました。

優勝 大根占中学校A
1時間10分58秒

二位 池田中学校A
1時間11分43秒

優勝 池田青年団
1時間9分50秒

二位 宿利原青年団
1時間11分23秒

・区間賞・

中学校の部 一般の部

1区 脇田哲志 磯脇晴海

2区 番園純一 竹原政洋

3区 佐多浩二 飯屋洋人

4区 笹原 忍 笑喜和則

5区 木場辰男 木下秋則

6区 馬込 勉 押領司鉄郎

7区 上鶴鉄郎 馬込正則

8区 折久木信男 溝田義文

9区 炭之原強 大園 明



スタート/必勝をかける選手たち

秋季ナイターバレーの結果

11月20日から23日の4日間町福祉センターで開催され、各職場、団体から20チームが参加しました。

優勝 城元青年団

準優勝 大根占教員団

3位 大根占同好会

4位 なんぐら農協

私と赤ちゃん

10

京町 湯ノ口 さやか(3ヶ月)

私は京町の湯ノ口まち子です。さやかは三人兄妹の末っ子です。現在、5・38kgで標準より小さいですが病気をしたことはありません。食べ物は母乳とミルクが半々ぐらいで、離乳食にはおもちゃリンゴ汁など、一日三回位。また心配



さやかの将来について主人にたずねると笑って、事務員でもするかと言いますが、本心は親をたいせつにするすなおな女の子に育ってほしいと思っています。

太陽の子運動推進員

本町 隈元 キヨ子



私は推進員に任命されて、12年になります。担当は神之浜一区、神之浜二区、旭町の

三部落を受け持ち、その中に現在、5人の赤ちゃんがいます。妊婦さんがいらっしやいます。昔と違うことは、今の妊婦さん方はいろんなことをよく勉強されていらっしやるようです。また、私達が訪問すると心良く応対してくださいます。私達の仕事は乳児健診や妊婦健診などの伝達や妊婦の健康状態や乳児の発育などを見守るだいたいな役目です。でがなばりたいと思います。

皇居見学研修旅行のご案内

本町の遺族会主催による皇居特別参観と日光東照宮参拝の5泊6日の旅行を次のとおり計画いたしました。多数の方が参加されますよう御案内いたします。

1. 実施期間
昭和54年3月11日～16日
2. 対象者
町内居住者
3. 申込み方法
役場福祉係（遺族会事務局）
4. 会費
一人：4,950.00円
5. 申込み期日
昭和54年1月10日まで、（宮内庁手続きの為、期日を厳守いたします。）

◎行 程

第1日	各町村（または照国神社前）＝宮崎＝日向＝フェリー（船中泊）
第2日	大阪南港＝豊中IC＝吹田SA＝阪名園SA＝足柄SA＝東京IC＝九段会館＝ 九段会館＝靖国神社（昇殿参拝）＝皇居内参観＝東京タワー＝
第3日	（国会議事堂・迎賓館・学習院・明治神宮）＝岩槻IC＝宇都宮IC＝鬼怒川温泉 鬼怒川＝日光＝東照宮（参拝）＝いろは坂＝中禅寺湖＝日光
第4日	宇都宮＝東京都内＝厚木IC＝小田原IC＝熱海温泉 熱海＝箱根園所跡・杉並木＝芦ノ湖＝沼津＝阪名園SA＝吹田SA＝神戸
第5日	（船中泊）
第6日	日本カーフェリー＝日向＝宮崎＝都城＝牧之原＝照国神社前（または各市町村）

◎宿 泊 所

東京都内	九段会館	☎ 03 (261) 5521
鬼怒川温泉	鬼怒川グランドホテル	☎ 02887 ④ 1313
熱海温泉	西熱海ホテル	☎ 0557 ⑥ 6224

年末・年始の 役場の業務

年末・年始の役場の業務は12月29日から1月3日まで休みになりますが、戸籍関係の業務のうち、出生・死亡についての届出は法律で定められていますので、受付をいたします。

1. 台所のゴミはよく水切りして
2. 袋の口はしっかりと結んで
3. 大型のゴミは別に

おしらせ



大久保

- 年末・年始の宿利原診療所
年末：12月26日(火)まで
担当：山元ヒデ先生
- 年末・年始の患者輸送
年末：12月25日(月)まで
担当：山元ヒデ先生
- 年末の「ゴミ」「危険物」は早目に出しましょう。
一般家庭用ゴミの回収は12月30日までで終了します。できるだけ早めに清掃して出しましょう。また、年始の「ゴミ」の回収は1月5日(金)から、「危険物」は1月6日(土)から実施いたします。
※ゴミの始末のマナー
1. 台所のゴミはよく水切りして
2. 袋の口はしっかりと結んで
3. 大型のゴミは別に
- 4. ガラスなど危険物は別に、きめられた日の朝に、場所
- 5. スプレーなどは穴をあけて
- 6. ゴミはきめられた朝に場所
- 7. 松坂危険物捨場は危険物だけを他の人の迷惑にならないように奥の方へ捨てましょう。

12月は町・県民税第4期分の納期です

町・県民税第4期分の納期です

戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません

善意の話題

町社協へ

社会福祉事業費にと次の方々から、香典返しにかえ寄附がありました。厚くお礼申し上げます。故人は故人です。（ ）は故人。

上之園豊和（豊） 栄町
白井 生男（フヂエ） 白井
渋谷 忠男（トヨ） 神二区
大園 良一（甚太郎） 川北

錦江園へ

隠家 芳丸（ヤヨイ） 神川中
佐多エミ子（誼） 笹原

鳥浜婦人会から 金一封
佐多町の針山次男さんから サカナ
神之浜二区のオリンピック食堂から ミカン
岐阜市の中原秋広さんから ミカン

すずしろの里へ

塩屋の本坊製材から バナナ
皆倉の鬼ヶ原誠一さんから 苗物
東郷町の田代ツヤさんから 金一封
根占町の森田房男さんから 金一封
宮崎県の北郷荘家族会から 金一封
高山町の福岡フクさんから 菓子
鹿屋市の平嶺薫さんから みかん
大隅町の岡元春美さんから みかん
神之浜二区の渋谷忠男さんから 金一封
高山町の信時清熊さんから 菓子
寺前の厚ヶ瀬邦洋さんから さつまいも

広報紙の謝礼

大阪府高槻市在住の
鶴崎 徹さんから 金一封
福岡県須恵町在住の
中馬 菊男さんから 金一封
大阪府高槻市在住の
白川 修さんから 金一封